

2020年11月27日

保健だより 11月



日出学園中学校・高等学校 No.196

先週までは朝晩は冷え込み、昼間は暖かく秋らしい気候でした。今週に入り、朝晩の冷えに対して日中の気温があまり上がらず、本格的な冬がもうすぐこのように感じます。しっかりと体調を整えて、冬本番に備えましょう。

昨年の冬といえば、新年早々から新型コロナウイルス感染症が出現し、どんな特性のあるウイルスが分からず、外出を控えたり、手洗いやマスク着用などできることを必死に行っていました。11月に入ってから新型コロナウイルス感染症が「感染再拡大」と報道されており、感染者数が日により変動はあるものの確実に増加し、また高齢者の感染者数や重症者数も増えてきている状況です。今一度、一人一人が気を引き締める必要があります。例年、これからの時期は寒さが厳しくなり、また空気も乾燥します。新型コロナウイルス感染症への警戒に加えて、インフルエンザやノロウイルスによる感染性胃腸炎の流行にも注意が必要です。引き続き感染症対策を徹底しましょう。

～保健室からのお願い～ 一人一人が感染症対策を!!

新型コロナウイルス感染症の対策として、手洗い、アルコールによる手指や共有する物の消毒、マスクの着用、咳エチケット、3密を避ける、ソーシャルディスタンスの確保を引き続き徹底しましょう。

① 手洗いについて



学年により差はありますが、最近、校内の石けんの減りが少なくなってきています。みなさん、トイレ後、昼食時、移動教室の授業前などに手洗いはしていますか？特に気になるのが登校後の手洗いです。学校に着いて初めにすることは手洗いです。遅刻ギリギリで登校してそのまま教室へ入っている生徒もいるようです。手を洗う時間をとれるように時間に余裕をもって登校しましょう。教室のあるフロアーについたら、何よりも先に手洗いをしてください。

② 検温 & 健康観察について



基本的には、ほとんどの生徒が登校前に自宅で検温と健康観察をして登校してきていると思います。しかし、保健室を利用する生徒の中には、朝の体温を確認すると「測っていないから分からない」と答える生徒や、「朝から体調が悪かったけど、熱は無いから、とりあえず登校した」、「夜に熱があったけど、朝は下がっていたから登校した」という生徒がいます。ぜひ集団生活を送っているという意識をもって行動を見直してください。また毎朝行っている健康調査の入力もお願いします。

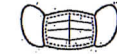


③ 体調不良時の登校



以前、学校からのお知らせにもあった通り、体調不良時の無理な登校は控えてください。家族の発熱などの体調不良時も同様です。登校しても良いのか判断に迷う場合や、たとえ出席停止になったとしても勉強面で遅れが出ないかが不安などの心配なことがあれば学校へ問い合わせてください。

④ 校内で食事をとることについて



昼食や放課後活動時の軽食に関しては全員向かい合わないで食べることが大前提です。また、マスクを外している間の会話も控えてください。そのような対策が守られておらず他校で集団感染を起こした事例が出ています。マスクを外して近距離で話しかけるのをやめてほしいと思っていても言えない人もいます。相手のことも考えて行動しましょう。



⑤ 換気の徹底

授業中は教員が授業の間に換気をする時間を設けます。授業と授業の間の休み時間や昼食時、昼休みは保健委員が換気を行います。保健委員が欠席の場合や移動教室で不在の場合は気づいた人が積極的に換気を行いましょう。

また換気を行うことで教室が寒くなることが想定されます。防寒として肌着やベスト・セーターなどの衣類や、ひざ掛けやホッカイロなどの小物で温度調整をしましょう。それでも調整が難しい場合は、決して我慢せず、担任や授業担当者へ相談してください。

11月でこれからの時期は…

インフルエンザやノロウイルスによる感染性胃腸炎の対策も!!



手洗いやマスク着用、咳エチケットなどの基本的な対策は同じです。インフルエンザに関しては予防接種を受けることができますので、まだ受けていない人はなるべく早く受けましょう。ノロウイルスに関してはアルコールでの消毒が効きません。ノロウイルスの消毒に関してはハイターなどの次亜塩素酸ナトリウムを用いましょう。また調理器具などは85℃で1分以上の加熱が有効とされています。厚生労働省のホームページを参考にしてみてください。



保護者の皆様

～今年度の健康診断について～

- 感染症対策を徹底し、無事に今年度の健康診断を終えることができました。ご協力ありがとうございました。健康診断の結果に関しましては、所見のあった生徒と、欠席などで受けることができなかった生徒のみに受診勧告のお知らせをお渡しします。
- コロナ禍ということもあり、受診をすることが不安といったご家庭もあると思います。社会情勢をみながら、ご家庭の判断を第一に、ご検討ください。